



■スローガン 「共に学ぶ 共に創る 未来志向 荻窪小学校」

教育目標 ◎美しい心の子ども ○深く考える子ども ○たくましく生きる子ども
 令和2年度 開校69周年 エコ・スクール12年目 コミュニティスクール8年目
 学級数 1年4学級, 2年4学級, 3年4学級, 4年3学級, 5年4学級, 6年4学級, 計23学級
 児童数 1年117名, 2年118名, 3年126名, 4年104名, 5年124名, 6年115名, 計704名

区分	重点目標	目標実現のための方策
基本方針	心を育てる ○人間尊重の教育 （ヒューマン・ディグニティ教育） の推進 道徳授業 の充実と継続的な 人権教育の取組	・「人にやさしく、自分も友達も大切に思う」子供の育成 ・「学校いじめ防止基本方針、全体計画」に基づいた実践 ・いじめ防止対策委員会、いじめ問題解決のための研修の実施 ・「考え、話し合う」道徳授業の充実 ・人権メッセージの年間通じての取組 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 ・心を育てる書の学び「言葉のチカラ」（穂苅先生 全学年展開） ・異学年交流の実施、なのはな生活園との交流
	一人一人を大切に ○特別支援教育の理 解・推進 （保護者の理解、 子供の理解）	・全学級における特別支援教育の展開 ・校内委員会を中心とした組織的指導 ・通常の学級と特別支援教室「すまいる教室」の連携指導の強化 ・特別支援教室「すまいる教室」の効果的な指導の充実 ・講演会、研修会の開催 ・副籍交流の充実
	つながりを活かす ○小中一貫教育 ・幼保小連携教育の 推進	・小中9年間を一貫した系統性と連続性のある指導の推進 ・学校間（児童・生徒間）交流活動の推進 中学校授業体験・部活動体験・合唱披露・職場体験 ・作品交流等の実施 ・学習指導を軸にした教職員交流の推進 授業参観等 ・小学校スタートカリキュラムの検証 ・幼保小連携の交流会・研修会の開催
	広い目を育てる ○環境学習の推進・ 充実 （ESDの推進）	・「エコ・スクール」を活用した荻小環境学習プログラムの改善 日本建築学会や区環境ネットワークと連携した環境学習 ・自然や環境にやさしい子の育成（ビオトープの積極的活用） ・「杉並区小中学生環境サミット」への参加 ・地域、家庭への環境行動の啓発 ・「子供エコ・ツアー」、「地域・保護者向けエコ・ツアー」の実施
学習指導	○授業力の向上 （新学習指導要領へ の対応）	・「問いをもち、考え、話し合う」授業づくりの全教科展開 ・新学習指導要領の理解と実践（主体的・対話的で深い学びの創造） ・ICTを積極的に活用した授業の展開（デジタル教科書、電子黒板等による「わかる授業」、タブレット端末を活用した学び合い） ・学力に関する調査に基づく授業改善推進プランの作成と検証 ・授業規律、学習スタンダードの徹底、ねらいと見通しが明確な学習の推進 ・基礎的な確かな学力の習得 ・「家庭学習」の充実 子どもの学習マネジメント力の育成 （「宿題」→「家庭学習」）

生活指導	○全校による生活指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供を大切にする指導（日常的によりそう時間の確保） ・ 人間尊重の教育（ヒューマン・ディグニティ教育）の推進 ・ 校章の励行（日常の意識化、儀式・校外学習時は必着用） ・ 情報モラルの指導「SNS 東京ルール」「SNS 学校ルール」 ・ 「荻小スタンダード」振り返りアンケートによる実態調査 あいさつ・校章・靴箱・チャイム・話の聞き方・呼名等 ・ 学校いじめ防止基本方針・全体計画の確実な実施 「いじめのアンケート、いじめ防止学習プログラム」等 ・ 子供自らが創る安全・安心な環境 「人にやさしく、自分も友達も大切に思う」子供 ・ 組織的な対応「担任→学年→生活指導部→関係機関」 ・ 管理職への迅速な報告、連絡、相談
校内研究	○主体的・対話的で深い学びの成立を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「問いをもち、考え、話し合う」授業の充実 ・ 研究推進委員会による推進、全学年による研究授業 ・ 実践的な研究の展開 ・ 子供の変容をとらえ、よりよい学びを創る
体力向上 （健康体力の向上）	○年間通して全校で取り組む体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 3 回の体力づくり「荻パワ」週間の設定 「長縄」「短縄」「持久走」等 長縄の取組の充実と長縄グランプリ（10 月）への参加 ・ 体力調査の分析と授業改善 ・ 栄養教諭、栄養士、家庭科専科と担任の連携による食育及び給食指導の充実
特別活動	○子供が中心となった特別活動・学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高学年への「あこがれ」低学年への「やさしさ」 ・ 異学年交流「さくら草まつり」「なかよし班」活動の充実 ・ 委員会・クラブ活動の主体的な運営 ・ JRC（青少年赤十字）活動の効果的活用
学校運営	○学校運営協議会の運営（コミュニケーションスクール） ○学校支援本部等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月に 1 回の学校運営協議会の開催 ・ 学校運営協議会委員と教職員の交流会の開催 ・ 学校関係者評価の実施 ・ 学校支援本部の協力による教育活動の推進 ・ 地域や保護者の力を生かした土曜授業の開催
その他	○人材育成 ○情報発信 ○環境整備 ○節電 ○服務事故防止 ○70 周年関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主幹・主任教諭等による組織的・計画的な人材育成 ・ 指導教授による若手教員研修、中堅教員研修と連携した毎学期 1 回以上の研究授業 ・ 学期 1 回の授業観察・指導 ・ 学校便り、保健便り、給食便り、SC 便り、学年便り、学級通信等の充実 ・ 学校ホームページからの積極的な情報発信 ・ 教室、特別教室、職員室等の、整理・整頓・清潔・掃除の徹底 ・ 節電の徹底（エコシステムの理解と活用） ・ 職員会議ごとのミニ服務研修及び服務研修（年間 3 回）の開催、日常の服務事故注意喚起 ・ 「荻小メモリアルフロア」設置 開校 70 周年記念行事準備委員会 2021（令和 3）年度開校 70 周年



サクラソウ

